

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年8月19日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	関東学園大学 地方創生研究所	代表者名	斎藤大二郎
担当者部署	経済学部	連絡先電話番号	0278-32-7869
担当者役職		担当者氏名	
住所	373-8515 群馬県太田市藤阿久町200番地		
連絡先E-mail			

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	太田市	連絡先部署	企画部企画政策課
担当者氏名		連絡先電話番号	0276-47-1892
		連絡先E-mail	

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	参加者の参画意識を高める研修全体のファシリテーション、状況即した柔軟な対応が素晴らしく、今後の研究会への参加者の期待が非常に高まる紹介研修でした。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。引き続きよろしく願いいたします。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年7月22日	14時00分	16時00分		120
3-2. 派遣場所	会場名	関東学園大学		最寄駅	細谷駅
	所在地	群馬県太田市藤阿久町200番地			
	最寄駅からの交通手段	徒歩5分			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	自治体、金融機関、JA、関連団体・企業(別添ファイル参照)	15人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	世の中の変化に即して中小企業を支援する立場にある組織はどう変わっていくべきなのか。変化していく必要性は感じつつも、その方向性と具体策を見いだせない状況にある。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	現状を知り、環境に即し変化していく必要性を強く認識すること。そして、変化していくべき方向性について、検討の視点を各組織に持ち帰り検討できる状態にすること。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	「先端テクノロジーは地方都市と中小規模企業のビジネスの概念を大きく変える」というタイトルにて、現在進行形の環境の変化により、中小企業経営のあり方はどのように変わっていくのかを中心に講義をいただく。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	世の中の変化の方向性を理解することにより、各参加者がそれぞれの組織で環境変化へ対応する必要性を強く認識することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	太田市の将来像、目指す方向性を定める必要があり、それについては今後の検討事項となった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事後アンケート別途ファイルにて添付	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	地域の中小企業支援組織が連携し地域のICT利活用を推進し地域が活性化されている状態	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

